

「ロゴマーク」が決定しました

公益社団法人認定を記念し、神奈川県助産師会の存在や活動内容がイメージできるようなロゴマークを広く公募し、多数応募の中、中田優子様デザインのデザインに決定しました。このマークは、本会のチラシやパンフレット等に使用していきます。



＜ロゴデザイナー＞ 中田優子様のコメント

現在、神奈川県に住んでいます。東京生まれですが、結婚し、憧れの横浜に住み、初めての子を横浜市で産み育てました。そして、今回、この公募を知り、是非に！と思い、応募しました。ロゴの中の丸い部分は、助産師さんの頭を、外側の円は助産師さんの腕を表しています。大きいハートはお母さん（の心臓）を、小さいハートは赤ちゃん（の心臓）を表しています。助産師さんが両手を広げてお母さんと赤ちゃんを結び付けている姿をデザインしました。色は、ピンクで優しさを表現し、どこに印刷・表示されても目立つように濃いピンクにしました。採用していただき、本当に嬉しく思っております。

研修会のお知らせ ※詳細はホームページをご覧ください お申込みは事務局まで

テーマ「元気なカラダをつくる食事」

日時：2013年8月3日(土)13:30~16:30 場所：とわ助産院

講師：管理栄養士・国際薬膳師 岡本正子先生

内容：具体的にどのような食事が良いのか、食の大切さ、楽しさ、食の力を学びます!



テーマ「子どもたちを守るための研修会」～3月改定 最新の予防接種情報～

日時：2013年8月24日(土) 13:30~16:30 場所：とわ助産院

内容：「知らないままで良い? 赤ちゃんのB型肝炎ワクチン」 乾あやの先生（済生会横浜市東部病院）
「産まれる前に知っておこう! 赤ちゃんを守るワクチン」 中野康伸先生（中野こどもクリニック）
「ワクチン総合質問コーナー」

事務局より

4月より2人交替制で勤務しております。少しでも助産師会の皆様のお力になれば幸いです。

事務局へのお問い合わせは、10時~16時にご連絡ください。また、住所変更等のご連絡は日本助産師会のHPからも行えます。ご利用ください。(樋口・田中)

会員募集中

随時、入会を受け付けています。
詳しくはHP、事務局まで。

ご寄付のお願い

神奈川県助産師会の活動にご賛同下さいます皆さまからの温かいご支援をお願いします。
ご連絡先 事務局

公益社団法人神奈川県助産師会 公益社団認定記念事業

命・愛はぐくむ。

1部「あんなお産こんなお産」

2部「田口浩正氏&助産師トークショー」

3部「森之美妃氏 マタニティーコンサート」

日時：7月6日(土) 13時~受付

場所：吉野町市民プラザ ホール

申込：神奈川県助産師会HPより(先着200名様)

入場：無料

◇編集後記◇

神奈川県助産師会って何をしているんだろう。この疑問にお答えできるように広報誌作成にむけて委員一同、頑張ります。(青島)

発行：公益社団法人神奈川県助産師会

編集：広報委員会

〒231-0037 横浜市中区富士見町3-1

神奈川県総合医療会館6階

電話 045-262-4201 Fax 045-348-9020

メール:office@kanagawa-josanshi.com

公益社団法人 神奈川県助産師会

ニュースレター 2013年6月 VOL.1



ニュースレターの発行にむけて

公益社団法人神奈川県助産師会 会長 仲 かよ

神奈川県助産師会の会員の皆様には、いつも本会活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。本会は、昨年12月1日より、公益社団法人神奈川県助産師会となり、今まで以上に評価される組織として求められます。

この度、第1回のニュースレターを発行する運びとなりました。助産師会の活動をお知らせして、より身近に感じて頂け、会員同士の交流の懸け橋になってくれたら幸いです。先輩から受け継がれてきたこの会を更に充実させ、発展させていきたいと思っております。今後どうぞ宜しくお願い致します。

平成25年度 通常総会報告

総務理事 岩田美也子



平成25年5月10日、神奈川県総合医療会館6階研修室にて、公益社団法人神奈川県助産師会 平成25年度通常総会 が行われました。公益社団法人に認定されて初めての総会でしたが、出席者と委任状を含め2分の1以上の参加があり、総会は無事成立し、開催の運びとなりました皆様のご協力の賜物だと感謝致します。新定款に則り、平成24年度事業報告と収支決算、定款改訂について審議され、賛成多数で承認されました。収支決算につきましては、若干の修正がありましたので、後日修正したものを会員の皆様には郵送致しました。

公益になった記念にロゴマークを公募し、中田優子さんの作品が選ばれ、総会の中で披露されました。ピンクを基調にした可愛いロゴマークは、近日中にバッジ(会員章)にする予定です。是非会員の皆様はお買い求めくださいますよう、お願い申し上げます。



←総会の様子

<活動報告>

出前講座 ～もうすぐ助産師になる皆さんへ～ を実施して

副会長 村上明美



今回、卒業間近の助産師学生を対象に～もうすぐ助産師になるみなさんへ～というテーマで、初めて出前講座を開催しました。平成25年2月28日には亀田医療技術専門学校助産学科（千葉県）に、3月5日には東京医療保健大学助産学専攻科（東京都）に、本会の理事が訪問しました。両校とも10～15名の助産師学生と教員の方々が参集してくれました。



「どんな助産師になりたいですか」

当日は、私たち（村上のほかにも・岩田美也子理事・岡本登美子理事・岡田啓子理事）の自己紹介から始まり、様々な助産師の活動について紹介しました。また、学生には助産実習を振り返ってもらい、実習で素敵な助産師に出会ったこと、感動的な出産に立ち会えたこと、自己の無力さを実感したときにどのように乗り越えたかなどの体験が、学生から赤裸々に語られました。

最後に、10年後、20年後、30年後の自分を想像してもらい、助産師としてのキャリア・ディベロップメントについて考えてもらいました。学生の瞳はみんなキラキラと輝いていて、「早く助産師として働きたい」という熱意が全身から伝わってきました。初々しい学生の姿に私たちもたくさん元気をもらいました。

タクシードライバーへの講習会



平成25年3月21日、22日にケイエム国際タクシー株式会社（横浜市南区）で、みやした助産院 院長宮下美代子さん、とわ助産院 院長山本年映さんが講師となり、タクシードライバーを対象に講習会が行なわれました。

こちらのタクシー会社では「マタニティマイタクシー」というシステムがあり、事前に登録した妊産婦に対し、出産予定の施設も登録し、陣痛時の利用では後払いサービス、破水に備えて全車に防水シートを用意、全ドライバー（140名程）がこの講習を定期的に受けることを義務づけているそうです。



その時に備えて、真剣な眼差し

最初に出産の流れ、進行してきた場合の産婦の状態、万が一タクシーで出産となった場合などを説明し、場面を想定してシュミレーションを行いました。その後、妊婦体験ジャケットを装着してもらい、実際にタクシーに乗り込む動作などを行ってもらいました。意外にも（！？）年配のドライバーさんたちが希望され、「重いな」「これは足元が見えない」などの意見も聞かれました。最後に質疑応答があり、「坂道を通って大丈夫なのか？」等様々な質問がありました。このような講習を受けていることを会社でも掲示していると、妊産婦さんたちも安心できるのではないかと宮下助産師からお話がありました。

今後も、講習を定期的に行い、妊産婦が安心してタクシーに乗ることができるように助産師会としても支援していけたらと思いました。 (広報委員 野村香緒理)

《特集》 からだ作りをテーマにシリーズでお伝えしていきます

妊婦さんの体作り ～助産院のごはん①～ **バースあおば編**

助産院バースあおば勤務 上野典子

第1弾はバースあおばの食事をご紹介します。

バースあおばの食事は、酵素玄米と具だくさんの味噌汁を基本に、野菜を中心としたおかずです。旬の野菜を取り入れ、彩りよく、目でも楽しめ、体も心も喜ぶ食事を心がけています。酵素玄米とたっぷり野菜のおかげで入院中の褥婦さんは便秘しらず。ごく普通の家庭料理ですが、素材の味を活かし薄味でも満足でき、おっぱいにもよい食事です。

カンガルーの会主催の「お食事会」など、妊娠中から退院後にも食べる機会があり家庭での食事の参考にもなります。

《ある日のメニュー》

- ★酵素玄米・味噌汁（キャベツ、麩）、鯉のレモン煮、五月菜のおひたし、芋茎の炒め煮・根菜（大根、人参、牛蒡）と
- こんにゃく、しいたけの煮物・もやし・人参・ニラ、わかめのナムル
- ★酵素玄米・味噌汁（大根、油揚げ）、ツナと野菜のトマト煮、ブロッコリー・スナップえんどうの豆腐マヨネーズ添

～【豆腐マヨネーズ】の作り方～

材 料：水切りをした木綿豆腐、味噌、はちみつ、お酢、塩こうじ、（お好みですりゴマ）
 作り方：材料を全てすり鉢に入れ（もしくはフードプロセッサー）で練ります。
 ゆでた野菜に添えます。まるでマヨネーズのようなヘルシーなディップです♪



←酵素玄米は、もっちりしていて風味があり、産後の皆さんに大好評！

